



新たな指針づくり

ニュースレター

News Letter

第5号 2013年8月16日

このニュースレターは、職員の機運を高めつつ、市民の皆さんに向けての情報発信と指針へのご理解を深めていただくために、藤沢市企画政策部企画政策課が制作しています。

この号の内容

- 1 アツい議論が展開！
- 2 分野別重点課題と重点施策
- 3 総合計画とはここが違う～内容編②～
- 4 市民ワークショップを開催しました
- 5 これからの策定スケジュール(予定)

アツい議論が展開！

毎日猛暑が続いていますが、総合計画に替わる新たな市政運営の総合的な指針の策定も、アツい議論が繰り返されています！

現在、検討委員会を中心に長期的な視点として、今後藤沢が目指す都市像を具体化する基本目標の精査を行いながら、喫緊の課題となる分野別重点課題の評価と選定を行っています。

「藤沢市が将来どのようなまちになるべきか」という将来図を描きつつも、特に重点的に取り組む喫緊の課題に対応する「新たな指針」の策定に向けて取り組んでいますので、各部課でもこの指針の趣旨を踏まえ、重要性、緊急性を考慮した業務の実施に努めてください。

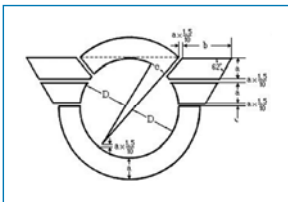
分野別重点課題と重点施策

分野別重点課題・重点施策は、各部において長期的視点に基づいて重点的に取り組むべき課題と施策を抽出し、部を横断的に捉えながら、施策としての優先度を検討するなかで、最終的に市政の推進において力をいれるべき課題と施策にまとめていきます。

この分野別重点課題と重点施策は、経常的な事業や個別計画に基づく施策、事業は、指針に関わりなく、しっかりと行われているという前提に立っています。

従って、重点的に取り組む事業だけが実施されれば良いということではなく、浮かび上がった重点施策、事業をより確実に実現、実行するなかで、その基盤となる経常事業やその他の政策的事業も着実に実施していくことが求められます。

新たな指針の策定は、全国でも先駆的な取り組みになります。全国の自治体のスタンダードとなるよう、職員一人ひとりの力を結集しましょう！



総合計画とはここが違う！～内容編②～

<分かりやすい構成・読みやすいボリューム>

総合計画はどうしてもフルラインアップとなるため、ボリュームがあり、読みづらいものとなりがちです。また、日々の業務との関係が密接とは言えず、予算要求のときに「総合計画に位置づけられている」という材料に使うだけのような形骸化も見受けられます。藤沢市の将来を見据えて策定していても、職員が日頃から意識して活用され

るものでなければ、長期的なゴールにたどりつくことも、近づくことも難しいものと考えます。一方で、各部の政策、施策には多くの個別計画があり、目指す姿を定めているものも存在していますが、それぞれの計画は、その目的、目標、計画期間も異なっています。こうした目的、目標、時間軸を意識することは通常業務であっても、計画策定であっても必要な視点であり、人材育成や組織の一体化につながるものと考えます。

市民ワークショップを開催しました

7月27日（土）、28日（日）に「明日の藤沢を、あなたと一緒に考える♪ 市民ワークショップ」を開催しました。

2日間で、湘南台、明治、鵜沼の各市民センターの3ヶ所で開催し、延べ27人の市民の皆さんと54人の職員の方々にご参加いただきました。人数は決して多くはありませんが、より身近で、生活上の実感にもとづいたご意見をいただくことができました。そうしたなかでも、参加者の皆さんは将来の藤沢市がどんな風になるべきかを真剣にお話しいただきました。また、職員も同席することで、職員は様々な問題や意見を参加者の皆さんと共有でき、市民の皆さんは、行政の考えや方向性を知っていただくきっかけになったことと思います。

いただいたご意見は今後の指針の策定や重点施策の選定などのなかで反映します。

夏休み期間の土日で、納涼祭等も各地で催されるなか、ご参加いただきありがとうございました。



これからの検討スケジュール(予定)

引き続き、皆さんのご協力のもとに新たな指針を策定していきます。

今後は、長期的な目標を踏まえた重点課題・施策等の集約と選定を進めます。平成26年度予算編成と並行しての作業となりますが、よろしくお願ひします。

ご質問や内容についてのご意見などは随時企画政策課までお寄せください。

📅 8月26日 議員全員協議会



藤沢市企画政策部企画政策課

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1

電話 (0466) 50-3502 ファクス (0466) 50-8400

e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp